

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 水菱プラスチック株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-0262 岡山県倉敷市船穂町水江1424番地	
本票作成	部署名：技術部 工場技術課				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	自動車向プラスチック製品の設計・開発及び製造。従業員数：605人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水菱プラスチック(株) 本社工場		岡山県倉敷市船穂町水江1424番地	
	②	水菱プラスチック(株) 吉備工場		岡山県総社市久代1032番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 1 年度)
	14,537 t CO <sub>2</sub>	16,569 t CO <sub>2</sub>	13,825 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	水菱プラスチック(株) 本社工場	10,588 t CO <sub>2</sub>
	②	水菱プラスチック(株) 吉備工場	5,981 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 令和 1 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 5.3 %	4.9 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 CO <sub>2</sub> 総排出量(k g CO <sub>2</sub> ) /生産数量(個) kg CO <sub>2</sub> /( 個 )	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		1.8429	1.9407	1.7526

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- 1) 本社工場で生産に関わらない試験機器等の電力量増加により悪化。
- 2) 新規受注に伴い、射出成形機において原単位の大きい設備の稼働が増加し原単位が悪化。
- 3) 新規受注に伴い、塗装ラインのサイクルが2.5~3.5sec/本延びた事により原単位が悪化。

**【推進体制】**

環境委員会(1回/月開催)・・・環境マネジメント部会 省資源・リサイクル部会 地球温暖化防止部会・省エネ活動会(1回/月開催)
---

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場・吉備工場	(30年度実施分) ・水銀灯のLED化による省エネ ・蛍光灯のLED化による省エネ ・空調機の更新による省エネ  (今後実施予定分) 1. 生産減少に伴なう省エネ改善を通常の省エネ活動に追加して実施 1) 設備の昇温等段取りに要する時間を気温条件等を考慮し明確化するとともに段取り時間を短縮する 2) 1項に伴い送水設備、コンプレッサー等の付帯設備の運転時間の見直し 3) 休日における待機電力低減として元ブレーカー断の実施  2. 昼間のピーク電力の削減 1) 季節毎の1日のデマンドの状況及び設備の稼働状況の把握 2) 上記結果に基く使用設備（主として成形機）の運転時間の見直し及び電動成形機の負荷率の見直し、デマンドの低い時間帯への移動及び夜勤への変更等

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--